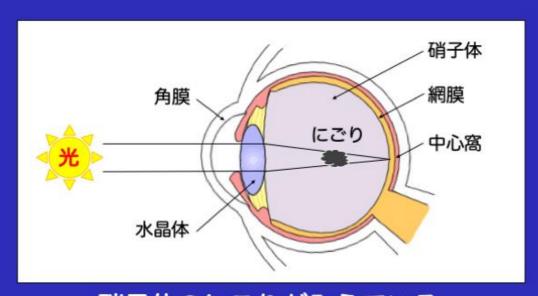
【眼の病気のおはなし】 その② 飛蚊症(硝子体混濁)とは

眼球の中には卵の白身のような物質が詰まっており、これを「硝子体(しょうしたい)」といいます。硝子体はほとんど透明なのですが、ところどころに小さなにごりが浮いています。 わずかなにごりは正常な眼でもみられ、明るいところで小さな虫が飛んでいるように見えたり、湯気やけむりがただよっているように見えたりします。おおくの飛蚊症は自然現象ですが、病気によって生じている場合もあります。にごりが急に増えたときや見え方の変化が目立つときには眼科を受診しましょう。

飛蚊症



硝子体のにごりがみえている 多くは硝子体が縮んでくる自然現象 ★病気による飛蚊症もあるので「眼科受診を」